

地域のよさを生かした事業を展開

～「人 自然 輝きつづける あい甲賀」の実現へ～

甲賀市のまちづくりは、市総合計画の具現化にあります。平成20年度も同計画にあるまちづくりの目標に向けて各種事業を展開しました。昨年度決算の中から取り組みを進めた主な事業を各目標ごとにご紹介します。(線越事業含む)

協働の目標 市民と行政の協働により、 まちの成長力を高める

- 自治ハウス・コミュニティ助成事業 1,848万円
区・自治会のコミュニティ推進のため、自治ハウス建築・改修や事務用品、設備等の整備に必要な費用を助成しました。
- テーマコミュニティ活動支援事業 535万円
住民の自主的なまちづくりを進めるため、市民活動保険への加入や市民活動補助などを行いました。
- 区事務活動・地域区長会交付金 6,009万円

目標1 生活の安心感をみんなで 育てる

- 福祉医療給付事業 6億727万円
小中学生の入院医療費を8月診療分から無料化しました。

- 敬老会事業補助 2,067万円
164件の開催経費の助成を行いました。



▲地域で行われるふれあいサロン

- 地域子育て支援センター事業 2,929万円
相談指導、講演会など地域単位での子育て支援を行いました。
- 放課後児童クラブ支援事業 4,936万円
働く親の支援として15クラブに指定管理委託し、児童の健全な育成に力を注ぎました。

- 母子保健事業 3,569万円
乳幼児・妊婦健診・不妊治療助成を実施しました。
- 災害時要援護者避難支援システム構築業務 399万円
災害時に援護が必要な人の名簿を管理し、地域での避難に役立てられるようシステム構築を行いました。



▲子育てをサポートする子育て支援事業

目標2 自然を大切に、暮らしの 豊かさにつなぐ

- ゴミ収集事業 9億409万円
家庭から出されるごみの分別収集と処分のほか、ごみ辞典を作成し各家庭に配布しました。また、信楽地域をモデル地区として廃プラスチック類の分別によりごみの減量化を進めました。



▲河川愛護事業での清掃活動



▲ごみの減量化のため行う分別収集

- やまのご事業 645万円
次代を担う子どもたちが、体験型学習を通して森林への理解と関心を深めました。
- 新名神高速道路環境監視事業 1,193万円
環境への影響が懸念される地域で大気監視測定を行いました。

目標3 安全で快適な生活の基盤を 整え、まちの活力を高める

- 地上デジタルテレビ放送中継局整備事業補助 619万円
甲賀大原局のデジタル放送受信環境が整いました。
- 公立甲賀病院移転整備事業 2,166万円
アクセス道となる国道一号に平面交差点を設置する用地を取得し、交差点設置設計が完了しました。



▲新病院完成予想図

- コミュニティバス運行事業 2億4,019万円
- 市道新設改良工事 3億1,939万円
生活道路を中心に整備を行いました。
- スポーツの森公園整備事業 4億6,266万円



▲工事が進むスポーツの森陸上競技場

目標4 地域の特性を活かし、 元気な産業を伸ばす

- 工業開発推進事業 2,603万円
財政基盤の強化のため、市内工業団地に優良企業の早期立地・操業を推進しました。
- 農地・水・環境保全向上対策事業 5,307万円
集落環境の保全事業の実施と環境こだわり農産物の作付けを推進しました。



▲地域で取り組みが進む保全事業

- 鳥獣害対策・有害鳥獣駆除事業 1,913万円
鳥獣害指導員を配置して、サル・シカ等からの被害の軽減や駆除に努めました。
- 経済振興特区推進事業 778万円
海外販路拡大事業などにより信楽焼を世界に発信しました。

目標5 たくましい心身と郷土への 誇りもつ人を育てる

- こどもの安心・安全向上事業 461万円
小学校にインターフォンを設置しました。
- 教育相談・適応指導事業 1,779万円
心に不安をもつ子ども・保護者の相談を受け、臨床心理士などが助言を行いました。
- スクールソーシャルワーカー活用事業 1,200万円

- 不登校・学校不適応児童生徒が多い小中学校へスクールソーシャルワーカーを配置して、小中連携し不適応解消に努めました。
- 土山室内運動場改修事業 5,346万円
体育館が屋根付の人工芝運動場にリニューアルしました。



▲リニューアルした土山室内運動場

- 図書館システム統合業務 1,099万円
図書館利用カードを統一。共通カードで市内図書館が利用できるようになりました。



▲新システムで便利になった図書館

- 希望ヶ丘小学校バリアフリー化事業 2,270万円